

講師 大竹 延幸氏 SurveyStat Solution 主宰
 中林 めぐみ氏 SurveyStat Solution シニア・リサーチャー

生成AI×データ分析とマーケティング活用セミナー

～データ分析からインサイトを抽出する～

お申し込みについて 定員になり次第、申込受付を終了します。お早めにお申し込みください。

1 **パソコン(各種検索サイト)から直接で**

セミナーID(半角数字) で検索

もしくは、<https://school.jma.or.jp/>

※貴社の情報セキュリティ方針等でwebからの申し込みが難しい方は
 JMAマネジメントスクールまでお電話にてお問い合わせください。
 TEL : 03(3434)6271

2 **スマートフォン
タブレットから**

参加料 (消費税込)

一般社団法人日本能率協会法人会員	220,000円/1名
上記会員外	242,000円/1名

※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。
 ※昼食の提供はございません。(各自でご用意ください)
 ※法人会員ご入会の有無につきましては、下記HPにてご確認ください。
<https://www.jma.or.jp/membership/>
 ※参加申込規定はJMAマネジメントスクールのWebページ
 (<https://school.jma.or.jp/>)に掲載しておりますのでご確認、ご同意の
 うえお申し込みください。
 ※本セミナーは実務の方への支援を主旨として開催しております。同業の方
 およびリサーチ業・コンサルティング業の方のご受講はお断りさせていた
 だいております。

本セミナーでは、Rソフトを使用するため、各自PCをご持参ください。
 ・インターネット接続可能なPC (ChatGPT等のクラウドAI利用も想定)
 ※本セミナーでは、ローカル環境で動作する生成AIツール (R, RStudio, Ollama等) をUSBメモリにて配布し使用します。そのため、USBポートが使用可能で、外部メディアからのプログラム実行が制限されていないPCをご持参ください。
 ※ローカルAIを稼働させるため、PCのメモリ (RAM) は16GB以上を推奨します (最低8GB)。
 なお、具体的な事前準備の方法や手順につきましては、お申し込み後に別途ご案内いたします。

参加定員 20名
 ※開催催行最少人数に満たない場合は中止する場合がございます。

プログラム内容に関するお問い合わせ先 (企画担当)
 一般社団法人日本能率協会 経営・人材革新センター
 〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22 TEL : 03(3434)1955(直通)

会場案内 会場地図は、参加証送付時にご案内いたします。
日本能率協会 研修室
 〒105-8522 東京都港区芝公園3-1-22

キャンセル規定

キャンセルのご連絡日	キャンセル料
開催15日前～開催8日前 (開催当日を含まず)	参加料の10%
開催7日前～前々日 (開催当日を含まず)	参加料の30%
開催日 前日	参加料の全額
開催日 当日	参加料の全額

無断でご欠席された場合も参加料の100%を申し受けます。
 ※一部のセミナーにおいて上記規定と異なる場合がございますので、ご確認のうえ
 お手続きをお取りいただけますようお願い申し上げます。

会員制度のご案内
 一般社団法人日本能率協会は法人を対象とした法人会員制度を設け、
 セミナー参加料割引をはじめ各種サービスを提供しております。
 是非この機会にご入会をご検討ください。
 詳細は <https://www.jma.or.jp/membership/>

申込に関するお問い合わせ先 (参加証・請求書・キャンセル・変更などに関する内容)
JMAマネジメントスクール TEL : 03(3434)6271
 電話受付時間 月～金曜日9:00～17:00 ただし祝日を除く
 E-mail : seminar@jma.or.jp FAX : 03(3434)5505

会期

2026年11月12日(木)～13日(金)
 【時間】 10:00～17:00

会場

日本能率協会・研修室 (東京・港区・芝公園)

参加対象

- 主に事業会社 (メーカー) に勤務する方々
- AIを活用してリサーチ業務の生産性を向上させたい方々
 - 生成AIの多角的視点で「気づき」「インサイト(洞察)」の幅を広げたい方々
 - マーケター、ブランドマネージャーでご自身でデータ分析の数値的な事実を話し言葉で理解して説明に使用したい方々
 - AIとデータ分析のアプリケーション「R」を利用してマーケティング・リサーチの効率化の習得と実務に活用できるノウハウを獲得したい方々

ねらい

マーケティング課題の解決において、生成AIの活用は今後必須のスキルとなります。生成AIは、課題の整理や原因の仮説構築、リサーチの効率化に大きな力を発揮するため、各種生成AIの特徴を理解し適切に使い分けことが肝要です。
 データの統計解析や視覚化には「R」を併用することが推奨されます。生成AIが得意とするテキストや音声などの非構造化データの分析と、「R」による定量的な解析を組み合わせることで、分析結果の言語化や深いインサイトの抽出が劇的に効率化されます。このハイブリッドなアプローチにより、アンケート結果から価値ある知見を導き出すことをねらいとしています。

※R…統計解析やデータ分析に特化したプログラム言語「R」とその実行環境を指します。



※本イラストはAIを使用して作成したものです。



本セミナーの特長

- ◆ 生成AI活用の流れは、クラウド型 VS ローカル型+RAGです。本セミナーでは、クラウド型：汎用的な作業
ローカル型+RAG：社内の専門知識・機密データの分析の使い分けも学びます。

- ◆ データ分析をマーケティングに活かすためには、分析結果の言語化*が不可欠です。

例) データ (Rの分析) : 「3ヶ月以上の継続顧客が、特定の機能改修後に15%離脱している」
×
言語化 (AIの解釈) : 「長年使い慣れた『操作のシンプルさ』が損なわれたことへの反発が起きています。新機能の訴求よりも、操作モードの旧モード選択肢の提供が今すぐ取り組むべき離脱防止策です」

課題の整理、効率化が出来ます。

- ◆ セミナーではデータ分析と生成AIを組み合わせることで「実務に役立つ言語化スキル」、すなわち、データ分析から得られた数値的な事実をに納得し、意思決定に直結する「意味ある言葉」を学びます。

※言語化とは

大量の数字や文章から、最も重要なポイント (Insight) を抽出すること
マーケティングデータは、集計・解析しただけでは「ただの記録」です。
生成AIと協業することで数値の背後にある消費者の心理的文脈をコトバとして引き出す。

ご参加のおすすめ

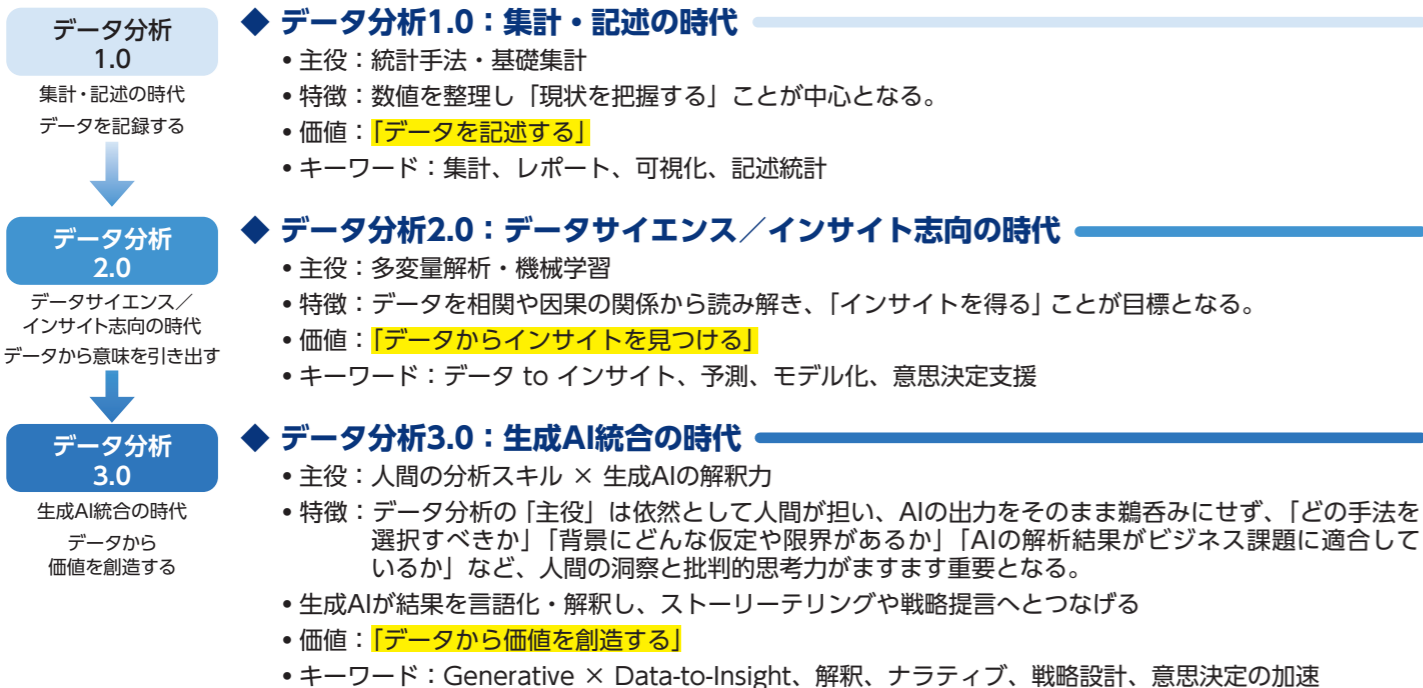
(パソコンをご持参ください / パソコンは貸与もできます)

以下のようなニーズを求めている方におすすめです。

- R言語のしくみを理解しつつ、生成AIを組み合わせることで効率的にリサーチを実施したい方
- 生成AIを活用し、情報収集の言語化、情報の加工スキルを向上させたい方
- リサーチ会社への発注を不要とする、自社内でのリサーチ実施能力を獲得したい方

データ分析の変遷と本セミナーの位置づけ

データ分析に生成AIを利活用するポイントは、役割分担、補完関係です。AIは時に間違った推論をすることもあります。AIの強みを活かし、弱みを人間が補うことが重要です。本セミナーでは、その具体的な役割分担、補完関係を学びます。



プログラム

本セミナーでは、Rソフトを使用するため、各自PCをご持参ください。
• インターネット接続可能なPC (ChatGPT等のクラウドAI利用も想定)
※本セミナーでは、ローカル環境で動作する生成AIツール (R, RStudio, Ollama等) をUSBメモリにて配布し使用します。そのため、USBポートが使用可能で、外部メディアからのプログラム実行が制限されていないPCをご持参ください。
※ローカルAIを稼働させるため、PCのメモリ (RAM) は16GB以上を推奨します (最低8GB)。
なお、具体的な事前準備の方法や手順につきましては、お申し込み後に別途ご案内いたします。

*生成AI (ChatGPTを推奨。他生成AI: Copilot, Gemini, Claudeも可)

10:00~17:00 (昼休憩 12:00~13:00)

- 1 日目
- 1 オープニング**
生成AI×Rで変わる「言語化」+DIYリサーチ*1 講義
 - 2 プロンプト設計の基礎とテンプレート共有**
良いプロンプトの組み立て方と自動生成コード*2 紹介 講義 + 演習
 - 3 マーケティング課題に対応したデータ収集、分析方法と生成AIのサポート**
家計調査データを題材に、仮説を立て、データ分析をする 講義 + 演習
 - 4 Excel分析ツール (相関係数、回帰分析の解析方法、結果の読み方)**
Excel分析ツールで分析 → 手動で解釈 → ChatGPT 講義 + 演習
 - 5 Rの使い方、Rで重回帰分析 (解析方法および結果の読み方)**
Rスクリプトで重回帰分析 → glue関数*3で整形 → ChatGPT 講義 + 演習

生成AIとRを組み合わせた「言語化スキル」と、自社で完結する「DIYリサーチ」を学びます。プロンプト設計の基礎から、Excelを用いた統計的仮説検定・回帰分析をハンズオン形式で理解します。最終的にはRによる重回帰分析とAIを連携させ、分析結果を実務に即した言葉へ変換する手法を習得し、統計解析と自然言語処理の融合により、高度な分析体制の構築をめざします。

- 2 日目
- 6 Rでロジスティック回帰*4 × ChatGPTでペルソナ生成と施策立案 (解析方法および結果の読み方)**
購買動機/因果関係の抽出 → 各セグメントの特徴を自動要約 ハンズオン
 - 7 RでFuzzy C-means*5 × ChatGPTでペルソナ生成と施策立案**
セグメント抽出 → ChatGPTでペルソナ & 戦略提案生成 ハンズオン
 - 8 個人 or グループワーク準備**
テーマ選定・役割分担・目的設定 (個人 or グループ) 準備
 - 9 統合演習 分析課題の設定 → ChatGPT活用 → 報告案作成**
分析手法選択 → 結果の解釈・施策提案 → Word/Excelに整理 ワーク
 - 10 成果発表・講評**
各チームが施策提案発表 / 講評 発表 + 講評
 - 11 総まとめ & 今後の応用視点 (API*6 連携)** 講義

Rによる高度な解析とAIの解釈力を融合させます。ロジスティック回帰やFuzzy C-meansを用いたセグメント抽出から、AIによるペルソナ生成・戦略立案までの流れを習得します。総仕上げとして、設定した分析課題に対しAIを活用して施策提案を作成する統合演習を実施し、成果を発表します。最後はAPI連携など今後の応用視点を学び、自走できるリサーチ体制の構築をめざします。

*プログラム内容は変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

用語説明

- *1 DIYリサーチ ネットリサーチのプロセスすべてを自身で行うこと
- *2 自動生成コード AIが自然言語のプロンプトや既存コードを解析し、プログラムコードを自動で作成・補充・修正する技術、およびその生成物
- *3 glue関数 文字列の結合や変数・式の埋め込みを容易にするための関数
- *4 ロジスティック回帰 ある事象 (2つの結果) が起こる確率を予測する統計手法
- *5 Fuzzy C-means 各データポイントが複数のクラスターに属する可能性を許容するデータクラスタリング手法
- *6 API 「アプリケーション・プログラミング・インタフェース」の略で、異なるソフトウェア同士がデータを連携させるためのインターフェース